



ホームページ

2022.05.30  
 No. 177



Twitter

# 多発する旅客からの「暴力行為」

コロナ禍による「緊急事態宣言」や「まん延防止重点措置」が解除され、客足が戻ってきているとともに旅客からの暴力行為が多発しています。

右記の「SAN-TAMA NEWS」5月4日発行以降も、**複数の駅職場で暴力行為が発生**しています。あらためて、暴力行為は犯罪であり断じて許しません！

## SAN-TAMA NEWS

No. 087  
2022年  
5月4日

JR東日本輸送サービス労働組合八王子地方本部三多摩支部情報 News from JTSU-E San-tama Branch

これは素直にありがたい

増える利用者

でも一方で増える…

止まぬ暴力行為

最近発生した暴力行為事象

2月22日	入区列車の車検中、誤乗の旨を案内し降車を促した乗客が <span style="color: red; font-weight: bold;">突然殴ってきた</span> <span style="font-size: x-small;">@三鷹駅</span>
3月8日	終電後の駅構内巡回時、エレベーター内で寝ていた酔客を 起こしたところ、 <span style="color: red; font-weight: bold;">突然殴られ重傷</span> <span style="font-size: x-small;">@西立川駅</span>
4月29日	入区列車の車検中、起こしても居る乗客から <span style="color: red; font-weight: bold;">ネクタイを掴まれドアに押しつけられる</span> <span style="font-size: x-small;">@立川駅</span>
5月3日	車内急病人を降車、ベンチへ移動させた途端に当該人物に <span style="color: red; font-weight: bold;">殴られる</span> <span style="font-size: x-small;">@立川駅</span>

※三多摩支部が知得したもので、これらは一部です  
 会社はウエアラブルカメラを導入し駅社員の安全性が向上し安心して働ける環境を整えるとしています。導入駅はわずか十数駅。ある専門家は「カメラは事件発生後の警察の捜査には役立つが、暴力や事件そのものを防ぐ手段にはならない」とコメントしています。

思い出してください！ 車内貫通業務の基本体制は以下の通り確認しています！

- JR本会社員1名以上を含む**2名以上の体制**が基本
- 車内貫通業務における2名体制は**『2名=1組』でバラバラにならない体制**が基本

(本部申第30号『ウエアラブルカメラ』導入について』団体交渉での労使確認事項)

いま一度車内貫通業務の体制を点検し、  
 単独の場合は直ちに2名以上の体制を！！

JR東日本会社は事あるごとに「利用客はコロナ禍以前には戻らない」と主張していますが、**現場で働く仲間たちは「コロナ禍以前の客足に戻っている」と指摘**しています。

エッセンシャルワーカーとして安全で質の高い輸送サービス提供に向け日々奮闘する仲間たちの努力に報いるためにも、会社は「2022年度夏季手当に関する申し入れ」**3.0ヶ月分の要求満額回答で応えるべきだ！**

**複数人での対応を徹底するとともに、何かあれば情報発信・共有をお願いします！**